

2017年4月27日  
株式会社 浅沼組

当社社員が博士号（工学）を取得しました  
—コンクリートの収縮メカニズムに基づく RC 壁のひび割れ制御に関する研究—

このたび、技術研究所調査研究グループの松井亮夫が京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士後期課程を修了し、博士（工学）の学位が授与されました。

本研究の成果をもとに、鉄筋コンクリート造壁に不可避な乾燥収縮によるひび割れを壁に設けた目地内で確実に誘発させる、高品質な壁を築造するひび割れ誘発目地付き耐震壁構法（鉄筋挿入型ひび割れ制御工法：CCB 工法）を提案し、本構法によるひび割れ誘発メカニズムを実験的及び解析的に解明しています。さらに、合理的な耐震壁構造性能評価法（CCB-NAC 工法）を提案し、その妥当性についても実験的及び解析的に検討しています。

建物竣工後のひび割れ問題を回避する手法のひとつとして多くの建物に適用でき、予防処置技術として役立つものと存じます。



谷 昌典准教授      松井亮夫博士      西山峰広教授



京都大学博士（工学）学位記